

2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月11日

上場会社名 株式会社 大林組

上場取引所 東 福

コード番号 1802 URL <https://www.obayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 蓮輪 賢治

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高田 佳明

TEL 03-5769-1701

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	965,290	3.0	72,764	11.9	76,751	10.0	56,813	16.4
2019年3月期第2四半期	937,138	2.1	65,028	4.3	69,742	5.6	48,827	0.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 51,859百万円 (10.4%) 2019年3月期第2四半期 57,871百万円 (17.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	79.17	
2019年3月期第2四半期	68.02	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,190,336	836,491	36.8
2019年3月期	2,214,512	798,149	34.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 805,982百万円 2019年3月期 768,944百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		14.00		18.00	32.00
2020年3月期		16.00			
2020年3月期(予想)				16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,030,000	0.5	150,000	3.5	156,500	4.0	110,000	2.8	153.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	721,509,646 株	2019年3月期	721,509,646 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	3,862,304 株	2019年3月期	3,872,160 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	717,641,686 株	2019年3月期2Q	717,858,469 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結業績予想に関する事項につきましては、[添付資料]3ページをご覧ください。
2. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
3. 当社は、2019年11月12日(火)にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや民間設備投資の増加などを受け、景気は緩やかに回復を続けましたが、米中貿易摩擦などの世界経済に対する先行きには不透明感が増しております。

国内の建設市場におきましては、公共工事、民間工事の発注はともに概ね堅調に推移しており、引き続き良好な受注環境にあります。

こうした情勢下にあります。当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績につきましては、売上高は手持ち工事の順調な進捗により建設事業売上高が増加したことなどから、前年同四半期比約281億円(3.0%)増の約9,652億円となりました。損益の面では、営業利益は前年同四半期比約77億円(11.9%)増の約727億円、経常利益は前年同四半期比約70億円(10.0%)増の約767億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比約79億円(16.4%)増の約568億円となりました。

当社グループの事業別の概況は、次のとおりです。

(建設事業)

建設事業受注高につきましては、良好な受注環境を反映し、当社の国内建築事業で増加したことなどから、前年同四半期比約601億円(7.2%)増の約8,959億円となりました。その内訳は国内建築事業約5,511億円、海外建築事業約2,105億円、国内土木事業約807億円、海外土木事業約535億円です。

次に、建設事業売上高につきましては、子会社の海外建築事業で減少したものの、当社の国内建築事業で増加したことなどから、前年同四半期比約249億円(2.8%)増の約9,179億円となりました。その内訳は国内建築事業約5,380億円、海外建築事業約1,851億円、国内土木事業約1,645億円、海外土木事業約302億円です。

また、営業利益につきましては、国内建築事業売上高の増加に伴い完成工事総利益が増加したことなどから、前年同四半期比約65億円(11.1%)増の約650億円となりました。

(不動産事業)

不動産事業につきましては、売上高は前年同四半期比約35億円(19.1%)増の約221億円、営業利益は約8億円(18.1%)増の約58億円となりました。

(その他)

その他につきましては、売上高は前年同四半期比約3億円(1.2%)減の約251億円、営業利益は約3億円(21.3%)増の約17億円となりました。

<事業別 売上高及び営業利益(連結)>

(単位:百万円)

区 分	建設事業					不動産 事業	その他	合 計
	国内建築	海外建築	国内土木	海外土木	建設事業計			
売 上 高	538,055	185,141	164,532	30,233	917,962	22,178	25,149	965,290
営業利益	41,191	5,263	17,502	1,138	65,096	5,878	1,789	72,764

(2) 連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末比約241億円(1.1%)減の約2兆1,903億円となりました。これは、工事代金債権(「受取手形・完成工事未収入金等」及び「電子記録債権」の合計)が減少したことや保有株式の時価の下落に伴い「投資有価証券」が減少したことなどによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末比約625億円(4.4%)減の約1兆3,538億円となりました。これは、工事代金の支払に係る債務(「支払手形・工事未払金等」及び「電子記録債務」の合計)や「短期借入金」、「長期借入金」が減少したことなどによるものであり、有利子負債残高は前連結会計年度末比約213億円(7.9%)減の約2,508億円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末比約383億円(4.8%)増の約8,364億円となりました。これは、「その他有価証券評価差額金」が減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い「利益剰余金」が増加したことなどによるものです。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は36.8%となり、前連結会計年度末より2.1ポイント上昇しました。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に国内の建設事業収支が引き続き堅調に推移したことから約660億円のプラス（前年同四半期は約229億円のプラス）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、機械装置の取得等により約166億円のマイナス（前年同四半期は約413億円のマイナス）となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払等により約342億円のマイナス（前年同四半期は約145億円のマイナス）となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べて約143億円増加し、約1,720億円となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期（2020年3月期）の連結業績予想につきましては、現時点で見直した結果、2019年8月7日の第1四半期決算発表時に公表した数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	168,698	185,718
受取手形・完成工事未収入金等	859,096	795,010
電子記録債権	11,895	15,890
有価証券	6,980	7,001
販売用不動産	12,209	9,881
未成工事支出金	35,369	50,652
不動産事業支出金	22,163	22,257
P F I 等たな卸資産	44,108	45,530
その他のたな卸資産	9,734	11,560
未収入金	92,554	79,813
その他	20,204	42,041
貸倒引当金	△150	△128
流動資産合計	1,282,866	1,265,231
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	125,103	123,157
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	55,746	58,017
土地	355,925	357,008
リース資産（純額）	289	282
建設仮勘定	7,493	12,834
有形固定資産合計	544,558	551,300
無形固定資産	4,997	4,958
投資その他の資産		
投資有価証券	360,627	346,180
長期貸付金	1,767	1,942
退職給付に係る資産	13	13
繰延税金資産	1,761	1,782
その他	18,130	19,135
貸倒引当金	△210	△208
投資その他の資産合計	382,090	368,845
固定資産合計	931,646	925,105
資産合計	2,214,512	2,190,336

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	551,181	514,699
電子記録債務	119,956	116,861
短期借入金	58,713	46,003
1年内返済予定のノンリコース借入金	10,079	7,510
1年内償還予定の社債	10,000	—
リース債務	103	103
未払法人税等	24,790	23,193
未成工事受入金	116,424	113,790
預り金	108,952	118,954
完成工事補償引当金	4,365	4,472
工事損失引当金	1,968	1,527
独占禁止法関連損失引当金	10,324	8,228
その他	78,324	79,102
流動負債合計	1,095,184	1,034,447
固定負債		
社債	30,000	40,000
長期借入金	84,347	79,105
ノンリコース借入金	79,076	78,201
リース債務	200	198
繰延税金負債	30,667	25,315
再評価に係る繰延税金負債	18,953	18,935
役員株式給付引当金	381	368
不動産事業等損失引当金	993	—
環境対策引当金	274	274
退職給付に係る負債	50,809	51,409
その他	25,472	25,589
固定負債合計	321,178	319,398
負債合計	1,416,362	1,353,845
純資産の部		
株主資本		
資本金	57,752	57,752
資本剰余金	42,540	42,825
利益剰余金	498,195	542,125
自己株式	△2,132	△2,121
株主資本合計	596,355	640,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	150,115	141,561
繰延ヘッジ損益	1,113	2,843
土地再評価差額金	19,214	19,172
為替換算調整勘定	△33	△24
退職給付に係る調整累計額	2,178	1,846
その他の包括利益累計額合計	172,588	165,399
非支配株主持分	29,204	30,509
純資産合計	798,149	836,491
負債純資産合計	2,214,512	2,190,336

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高		
完成工事高	893,045	917,962
不動産事業等売上高	44,092	47,327
売上高合計	937,138	965,290
売上原価		
完成工事原価	792,119	808,109
不動産事業等売上原価	33,036	35,816
売上原価合計	825,155	843,926
売上総利益		
完成工事総利益	100,926	109,853
不動産事業等総利益	11,056	11,510
売上総利益合計	111,982	121,364
販売費及び一般管理費	46,953	48,600
営業利益	65,028	72,764
営業外収益		
受取利息	588	630
受取配当金	4,329	4,510
その他	1,221	936
営業外収益合計	6,139	6,077
営業外費用		
支払利息	941	914
為替差損	—	976
その他	483	200
営業外費用合計	1,425	2,090
経常利益	69,742	76,751
特別利益		
独占禁止法関連損失引当金戻入額	—	2,096
投資有価証券売却益	1,482	1,924
その他	93	309
特別利益合計	1,576	4,329
特別損失		
投資有価証券評価損	6	874
投資有価証券売却損	188	439
その他	159	230
特別損失合計	353	1,544
税金等調整前四半期純利益	70,965	79,536
法人税、住民税及び事業税	21,443	22,519
法人税等調整額	△493	△1,528
法人税等合計	20,949	20,991
四半期純利益	50,015	58,545
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,188	1,732
親会社株主に帰属する四半期純利益	48,827	56,813

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	50,015	58,545
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,073	△8,564
繰延ヘッジ損益	2,004	1,731
為替換算調整勘定	△2,119	490
退職給付に係る調整額	△100	△331
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△12
その他の包括利益合計	7,855	△6,685
四半期包括利益	57,871	51,859
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	57,532	49,666
非支配株主に係る四半期包括利益	338	2,192

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	70,965	79,536
減価償却費	7,937	9,259
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15	△23
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△2,526	△413
独占禁止法関連損失引当金の増減額 (△は減少)	△37	△2,096
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	450	98
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	6	874
受取利息及び受取配当金	△4,918	△5,141
支払利息	941	914
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,289	△1,484
売上債権の増減額 (△は増加)	31,368	57,524
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	△8,167	△15,308
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,124	393
P F I 等たな卸資産の増減額 (△は増加)	△76	△1,421
その他の資産の増減額 (△は増加)	△26,574	△9,061
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,194	△37,240
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	9,415	△2,124
その他の負債の増減額 (△は減少)	△15,659	11,301
その他	△414	△139
小計	49,088	85,446
利息及び配当金の受取額	4,813	5,270
利息の支払額	△814	△878
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△30,116	△23,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,970	66,051
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12,431	△15,435
定期預金の払戻による収入	—	12,235
有形及び無形固定資産の取得による支出	△24,838	△15,981
有形及び無形固定資産の売却による収入	79	225
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△7,930	△1,687
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	3,673	4,045
貸付けによる支出	△74	△189
貸付金の回収による収入	151	178
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,370	△16,609

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△27,369	△9,222
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	30,000	—
リース債務の返済による支出	△53	△58
長期借入れによる収入	5,200	1,010
長期借入金の返済による支出	△8,216	△9,054
ノンリコース借入金の借入れによる収入	—	3,287
ノンリコース借入金の返済による支出	△4,051	△6,731
社債の発行による収入	10,000	10,000
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
配当金の支払額	△10,052	△12,925
非支配株主への配当金の支払額	△257	△233
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△364
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	267	—
その他	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,535	△34,293
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,097	△755
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△35,032	14,393
現金及び現金同等物の期首残高	184,783	157,699
現金及び現金同等物の四半期末残高	149,751	172,093

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項なし。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計
	国内 建築	海外 建築	国内 土木	海外 土木	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	495,122	207,843	162,643	27,436	18,626	911,672	25,465	937,138
セグメント間の 内部売上高又は振替高	22,642	1,019	7,879	—	531	32,072	3,899	35,972
セグメント売上高	517,764	208,862	170,522	27,436	19,158	943,745	29,365	973,111
営業利益								
外部顧客売上高に対応する 営業利益(注2)	37,178	3,239	17,385	770	4,979	63,553	1,475	65,028
セグメント間の 内部営業利益又は振替高	△470	△8	△12	△0	△0	△492	△39	△532
セグメント利益	36,707	3,230	17,373	769	4,979	63,060	1,435	64,496

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PFI事業、再生可能エネルギー事業、金融事業及びゴルフ場事業等を含んでいる。

2 「外部顧客売上高に対応する営業利益」は、「セグメント利益」から「セグメント間の内部営業利益又は振替高」を控除した金額であり、「外部顧客売上高に対応する営業利益」の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計
	国内 建築	海外 建築	国内 土木	海外 土木	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	538,055	185,141	164,532	30,233	22,178	940,140	25,149	965,290
セグメント間の 内部売上高又は振替高	26,069	463	10,355	—	532	37,420	4,139	41,559
セグメント売上高	564,124	185,605	174,887	30,233	22,710	977,561	29,288	1,006,850
営業利益								
外部顧客売上高に対応する 営業利益(注2)	41,191	5,263	17,502	1,138	5,878	70,974	1,789	72,764
セグメント間の 内部営業利益又は振替高	510	—	4	△0	△59	455	△52	403
セグメント利益	41,702	5,263	17,507	1,137	5,819	71,430	1,736	73,167

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、PFI事業、再生可能エネルギー事業、金融事業及びゴルフ場事業等を含んでいる。

2 「外部顧客売上高に対応する営業利益」は、「セグメント利益」から「セグメント間の内部営業利益又は振替高」を控除した金額であり、「外部顧客売上高に対応する営業利益」の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致している。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項なし。